

# BSL-4施設整備に係るスケジュール ／地域理解の促進に向けた取組状況

# BSL-4施設建設に向けた前回会議以降の主な動向と今後のスケジュール

## 【前回会議以降の主な動向】

平成29年9月 「長崎大学の感染症研究拠点の中核となる高度安全実験(BSL-4)施設の基本構想」のとりまとめ・公表

→実施設計業務の契約(主にハード面の検討)

主な地域理解のイベント等(詳細については、次ページ以降参照)

平成30年1月 長崎市議会主催でのドイツ・スウェーデンBSL-4施設視察(長崎市議7名参加)  
(ベルンハルト・ノホト熱帯医学研究所(ハンブルグ)、  
スウェーデン国立感染症対策研究所(ソルナ))

2月 田上長崎市長から河野長崎大学長に対する地域理解の取組に関する要請  
＜地域住民も委員として参画する地域連絡協議会の継続的開催＞

## 【今後の主なスケジュール(予定)】

平成30年8月 建設工事公告

8～10月 建設予定地の樹木の伐採

12月 建設着工(工事期間は2021年度まで)

→建設期間中を通じ、ソフト面の検討を継続

## 《長崎市長から長崎大学長への要請》

○平成30年2月14日 田上長崎市長から河野長崎大学長に対して、地域理解の取組について以下の通り要請（2月2日に行われた、市長と地域住民との話し合いを踏まえたもの）

### ー田上市長からの要請要旨ー

- ・地域とのコミュニケーションをしっかりとって頂きたい。
- ・その中でも地域連絡協議会は重要な場所となるので、これからもしっかりと取り組んで欲しい。
- ・地域との共生を計画的に進めて頂きたい。

### ー河野学長からの回答要旨ー

- ・まだ大学の説明を聞いたことがないという住民の方を含め、BSL-4施設に関する説明を繰り返し行っていきたい。
- ・地域連絡協議会の運営についても、双方向のコミュニケーションをしっかりと取っていきたい。
- ・地域との共生はBSL-4施設に限らず大学の大きな使命と考えている。

# 《長崎大学において実施した地域理解のための主な取組》

## 1. 地域連絡協議会の開催

市長からの要請等も踏まえ、地域連絡協議会において丁寧な議論を行うため、第14回以降の地域連絡協議会において、以下のような改善を実施。

- －資料の事前送付(会議開催の1週間前日途)
- －大学からの一方的な説明ではなく、委員との意見交換に必要な時間の確保  
(第15回会議では日曜に計5時間の会議を開催)

平成29年8月22日 第12回地域連絡協議会

- －高度安全実験(BSL-4)施設の基本構想について

平成29年12月20日 第13回地域連絡協議会

- －河野学長の就任挨拶
- －高度安全実験(BSL-4)施設の基本構想について
- －諸外国のBSL-4施設の状況について
- －安全確保上考慮すべき事象について

平成30年2月9日 第14回地域連絡協議会

- －第13回会議での発言(基本構想の印刷・配付部数)の訂正
- －地域連絡協議会議長宛「意見書」について  
(双方向の丁寧な議論、地域住民が安心できるテーマ、市民に向けた正確な情報提供)
- －委員からの質問・意見への回答
- －平成30年度政府予算案

平成30年3月18日 第15回地域連絡協議会

- －第14回会議での宿題事項(平成30年度政府予算案、BSL-4施設での研究経験者、BSL-3施設での排気検査、HEPAフィルタに関するWHO基準)
- －委員からの質問・意見への回答

平成30年5月8日 第16回地域連絡協議会

- －平成30年度の委員について
- －平成30年度の主なスケジュールについて
- －安全確保上考慮すべき事象について 等

平成30年6月29日 第17回地域連絡協議会

- －BSL-4施設の設計概要について
- －委員からの質問・意見への回答
- －第16回会議での指摘事項について(今後の議論スケジュール、諸外国等の基準、人物審査)

平成30年7月20日 第18回地域連絡協議会

- －これまでに実施したリスクアセスメント等に基づく対応
- －委員からの質問・意見への回答
- －BSL-4施設の建設までの主な工程について

## 2. 住民説明会等の開催(直近開催したイベント等)

### ○地域住民を対象とした説明会

- 平成30年4月12日 坂本地区住民説明会(28名参加)
- 平成30年4月17日 山里地区住民説明会(51名参加)
- (7月31日、8月2日 住民説明会を開催予定)

### ○企業・団体・マスコミを対象とした説明会

- 平成30年3月31日 長崎市心身障害者団体連合会説明会(20名参加)
- 平成30年4月20日 マスコミ向け勉強会
- 平成30年5月9日 地元医療系企業向け説明会(46名参加)

### ○地域イベントへの参加

- 平成29年12月17日 山里地区ふれあいセンタークリスマス会に参加
- 平成30年1月27日 平和町商店街「うまかもん祭り」参加
- (8月4日 平和町商店街夏祭りに参加予定)

### ○市民向け公開講座

- 平成30年3月25日 「様々な病原体とのお付き合い」(60名参加)
- (8月5日、20日 児童・生徒向けの公開講座等を開催予定)



**坂本地区のみなさまへ**  
長崎大学が進めているBSL-4施設計画の現状をご説明します  
—世界と日本の感染症とその対策の現状—

みなさまのご参加をお待ちしております

日時・会場	期 間	会 場	対象地域
平成30年 4月12日(木)	18:30 ~20:00	坂本1-3-2 坂本1-3-3 1F、 2F 2F 3F 3F 3F 山里地区ふれあいセンター(坂本町4-1)	坂本地区

会場案内図

**山里地区のみなさまへ**  
長崎大学が進めているBSL-4施設計画の現状をご説明します  
—世界と日本の感染症とその対策の現状—

みなさまのご参加をお待ちしております

日時・会場	期 間	会 場	対象地域
平成30年 4月17日(火)	18:30 ~20:00	山里地区ふれあいセンター 2F 2F 2F 2F 2F	山里地区

会場案内図

感染症の新しい治療薬やワクチンの研究と  
未来を担う人材を育成

長崎大学が計画する新しい感染症研究施設

# BSL-4 施設 設置計画

— その概要と安全管理について —

地域と共生し、人類に貢献するBSL-4施設に

長崎大学 河野 茂

様々な病原体とのお付き合い

「様々な病原体とのお付き合い」イベント概要

■ 日時 2018年3月25日(日曜日)  
13時30分~16時(13時開始)

■ 場所 長崎大学 医学部 坂本キャンパス  
良順会館 2階 ボードインホール  
\*長崎県坂本町2-2-4

■ 講演内容

- 金子 俊 「ウイルスと戦う」
- 飯田 雄也 「感染症と予防」
- 川口 康 「ヒトの免疫から進化する厄介ウイルスの話題」
- 喜田 宏 「ヒトの免疫から進化する厄介ウイルスの話題」

参加無料!

## 平成29年度 主なイベント等の開催一覧(参考)

1. 平成29年5月17日(水) BSL-4 設置計画に伴うメディア向け勉強会 新聞・テレビ9社から9名参加
2. 平成29年5月26日(金) 長崎大学リレー特別講座  
エボラウイルスの発見者ピーター・ピオット博士(ロンドン大学衛生熱帯医学大学院学長)  
市民・高校生・大学生等 280名参加
3. 平成29年6月10日(土) 世界モスキートデイ2017 「大人の蚊学講座」  
椎名 誠他蚊の専門家による市民公開講座 140名参加
4. 平成29年6月29日(木) ステファン・ギュンター博士・WHO小島博士の長崎市長表敬訪問
5. 平成29年6月30日(金) ステファン・ギュンター博士と本学医学生の意見交換会  
※本意見交換会は、朝日新聞広告に7月16日掲載
6. 平成29年7月28日(金) 世界モスキートデイ2017 親子蚊学入門講座 100名参加
7. 平成29年8月2日(水) アニサキスを探せ! 対象:小学校5・6年生  
(近隣3小学校を対象)参加者:17名
8. 平成29年8月4日(金) 世界モスキートデイ2017 子ども蚊学教室 30名参加
9. 平成29年8月5日(土) 日本学術会議「公開学術講演会」  
「アフリカ研究50年—日本の国際貢献—」BSL-4施設設置に関して講演 200名参加
10. 平成29年8月5日(土) 平和町商店街夏祭りへ参加 学生・教職員 17名参加
11. 平成29年8月24日(木) 「感染症って何? ウイルスって何? どんな人が研究してるの?」  
出前講座開催 小中学生16名参加
12. 平成29年9月4日(月) 感染症共同研究拠点ホームページの開設
13. 平成29年10月~ 感染症ニュースの配布拡大(学内・学外の病院・薬局等拡大)
14. 平成29年11月1日(水) 平和町商店街への説明会 8名参加
15. 平成29年11月9日(木) 長崎大学医学部学生への説明会 104名参加
16. 平成29年12月17日(日) 山里地区ふれあいセンタークリスマス会に参加
17. 平成30年1月27日(土) 平和町商店街 うまかもん祭り参加
18. 平成30年3月25日(日) 市民公開講座「感染症とのお付き合い」 60名参加
19. 平成30年3月31日(土) 長崎市心身障害者団体連合会説明会 20名参加

地元夏祭りへの参加



地域クリスマス会参加



### 3. 欧州のBSL-4施設の視察、新聞広告での周知等

平成30年1月 長崎市議会主催でのドイツ・スウェーデンBSL-4施設視察(長崎市議7名参加)  
(ベルンハルト・ノホト熱帯医学研究所(ハンブルグ)、  
スウェーデン国立感染症対策研究所(ソルナ))



- 平成29年2月にドイツのBSL-4施設を視察した地域の方の声と合わせて長崎新聞に周知広告を掲載。
- このほか、感染症に対するニュースレターを毎月周辺自治会等に配付(毎月約4,000部)。



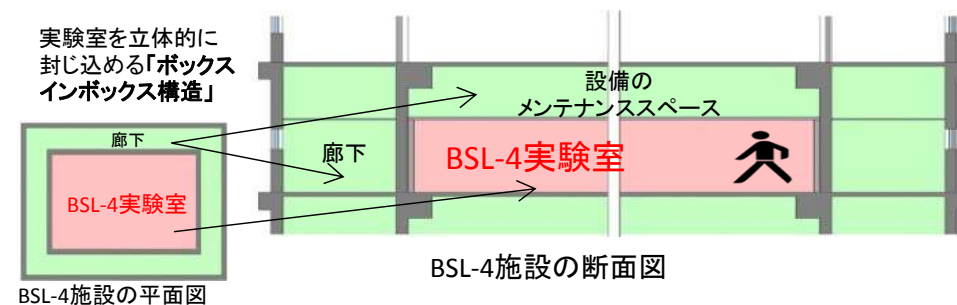
# 【参考】「長崎大学の感染症研究拠点の中核となるBSL-4施設の基本構想」の概要

## ○ 本学の使命

本学は、厳格な管理の下で世界さ高水準の安全性を確保しつつ、地域社会との共生を図りながら、BSL-4施設の整備や運営に取り組むことにより、研究や人材育成に関して世界を牽引する成果を創出することを使命とする。

## ○ 施設に求められる機能・性能

- ① 病原体の周辺環境への漏出を防ぎ、作業者の感染リスクを排除するための封じ込め構造と管理・監視システムを備えた最高度の安全対策を有する施設
- ② BSL-4病原体及びそれらによる感染症に関する研究において世界を牽引するとともに、我が国感染症対策に資する研究成果の創出及び人材育成を可能とする施設



## ○ BSL-4施設の安全確保の基本的考え方

- ① 実験者は陽圧防護服を着用し、各実験室は高度な気密性能を持たせるほか、万が一の場合の病原体の外部への漏洩を防ぐために、実験室では内向きの気流をつくるなど、幾重もの封じ込めを行う。
- ② 大規模な自然災害、火災、停電等の想定されるリスクに対して、施設の封じ込めを確実なものとするための対策を講じる。
- ③ 特定の間人以外がBSL-4実験室エリアには近づけないよう、施設の管理・運用に合わせたエリア区分・セキュリティレベル及びエリア毎の利用者のアクセス権限・生体認証等の管理方法を設定する。

## ○ BSL-4施設の管理運営体制

- ① 国、地方公共団体、国内外研究機関及び地域との緊密な連携を通じて、施設を用いた感染症研究成果を創出し社会に還元するため、長崎大学に「感染症共同研究拠点」(以下「拠点」という。)を設置する。
- ② 施設における安全管理を強化するため、拠点から独立した立場から施設の安全管理の監査を行う「バイオセーフティ管理監(仮称)」を任命する。
- ③ 作業者の適正審査や実験計画の事前審査を行うため、学内外の有識者で構成される「研究・施設利用審査委員会(仮称)」を設置する。

## ○ 地域との共生

- ① BSL-4施設の設置・運営にあたっては、地域との信頼関係の構築を通じた地域社会との共生が図られるよう、十分な透明性の確保と、説明責任を果たすとともに、積極的な広報に努める。
- ② 地域連絡協議会、住民説明会、シンポジウム等の場を活用して双方向のコミュニケーションを図りつつ地域社会の声を施設の設置・運用に反映するとともに、インターネットやフリーダイヤルを活用した情報提供、意見聴取の場を整備する。

## ○ 施設からの波及効果

- ① 世界的な感染症研究拠点の整備による地域への高水準の医療・人材の提供、研究都市としての長崎市の知名度の向上、これらを通じた地域の活性化への貢献等が期待される。
- ② 感染症研究における世界をリードする研究成果の創出、優秀な人材育成の推進、病原体研究や動物実験施設における安全管理の向上、一類感染症の迅速な診断及び予防対策の構築、新たな生命現象の発見等による我が国全体への波及効果が期待される。

基本構想は、BSL-4施設整備についての基本的な方針を示したものであり、今後は本構想を基に、詳細設計、安全管理のためのマニュアル等の整備を行う。